

新宿御苑

長い期間桜を楽しめる、都内随一の桜の名所



新宿御苑では、約 65 種 1,300 本もの桜があるため、2月のカンザクラから4月下旬のバイゴジジュズカケザクラまで、長い期間にわたって楽しめます。一般的な桜のシーズンといえば、ソメイヨシノが見頃の3月下旬から4月上旬ですが、新宿御苑の見頃は4月下旬まで続きます。真っ白な紙に薄紅をひとしずく落としたような淡いピンクが美しい桜「イチヨウ」など、魅力あふれる八重桜を愛でるなら4月中旬が見頃です。（※酒類持込禁止、遊具類使用禁止）

上野恩賜公園

東京の花見スポットといえばココ！



上野の山は江戸時代から名高い桜の名所として知られています。寛永寺が創建された後、桜が好きな天海僧正が吉野山から移植させたのが始まりといわれています。

公園内にはソメイヨシノやヤマザクラなど約 1,000 本の桜が植えられ、約 300mの桜並木があります。賑やかな東京の花見スポットといえば、この上野恩賜公園。3月下旬から4月上旬までの間の桜まつりに合わせて、毎年いろんなイベントが開催され、大変賑やかに盛り上がります。

隅田公園

八代将軍 吉宗が植樹を広めた墨堤の桜



隅田川の吾妻橋、桜橋の間は江戸時代からの桜の名所「墨堤の桜」として、長年江戸の人々に愛されてきました。八代将軍 徳川吉宗が江戸庶民も楽しめるようにと桜を植樹したのが始まりといわれています。

隅田公園では、隅田川をはさんで台東区側、墨田区側ともに満開のソメイヨシノがみられます。隅田公園の両岸の桜を合わせると 1,000 本以上にもなります。

3月下旬頃から4月上旬には台東区の「隅田公園桜まつり」と、墨田区の「墨堤さくらまつり」が開催されます。

国営昭和記念公園

広大な公園を春の花々がカラフルに染める



広大な敷地を誇る昭和記念公園では、春になると 31 品種、約 1,500 本の桜が咲き誇ります。特に園内のほぼ中央、「みんなの原っぱ」の北側にある「桜の園」では、約 200 本のソメイヨシノが集まり、広々とした空と満開の桜の下で花見が楽しめます。

また、昭和記念公園では定期的に野鳥観察会やガイドツアー、季節のイベントなど、園内の自然を楽しむ催しが多数あります。同時期に満開を迎えるチューリップなど、他の花も合わせて楽しめるのは昭和記念公園ならではの。